



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	研究の動向(fulltext)
Author(s)	東京学芸大学附属国際中等教育学校研究部
Citation	国際中等教育研究 : 東京学芸大学附属国際中等教育学校 研究紀要(6): 251-252
Issue Date	2013-03-00
URL	http://hdl.handle.net/2309/137140
Publisher	東京学芸大学附属国際中等教育学校
Rights	

研究の動向

研究部

平成24年度の校内研究は、9月までの年度前半は、6月23日（土）に開催した第3回校内研究会開催にむけての準備及び公開研究会実施に関する成果と課題の分析に取り組んだ。

そして、10月からの年度後半は、第3回公開研究会開催にともなう明らかとなってきた本校の教育課程の現状とこれからについて、共通理解を深めることを軸として下記のように校内研究会を開催した。

平成24年度校内研究会の内容

① 4月～5月

- ・ 第3回公開研究会の主題を、『「グローバル」な視野と能力を持つ生徒の育成 ～中等教育の特色を生かした授業の開発』と決定し、各教科、国際教養、IB、ESDの分科会を設定し、第1学年から第6学年の全学年の授業を公開することとした。
- ・ 上記の研究主題に、本校で教育目標、育てたい生徒像、IBの学習者像を基盤として各教科、国際教養、IB、ESDからのアプローチについて検討した。
- ・ 第3回公開研究会において、全体会、公開授業、分科会とともに、国際バカロレアシステムの学びの特色と「グローバル」な視野と能力についてを多面的多角的に考察していくことをねらいとするパネルディスカッションを開催することを決定した。
- ・ 第3回公開研究会の教員分掌、公開授業の授業者、対象学級を決定した。

② 6月

- ・ 第3回公開研究会全体会における研究主題設定の理由について校内研究会で検討した。
- ・ 第3回公開研究会研究冊子の編集、発行に取り組んだ。

③ 7月～9月

- ・ 第3回公開研究会の成果と課題について、分科会を単位として明らかにした。
- ・ 第3回公開研究会の参会者アンケート記述結果に基づいて、成果と課題を校内研究会で分析した。

④ 10～12月

- ・ 学校設定領域「国際教養」の実践の現状についての共通理解の深化及び今後の「国際教養」の学習のあり方を話し合うグループセッション形式の校内研究会を開催した。
- ・ 本校の研究の軸となる国際バカロレアシステムについて、今後、DPプログラムを導入することが確認された。
- ・ 文部科学省の研究開発学校研究指定にむけての準備に取り組むことが確認された。
- ・ 研究紀要第6号の編集、発行のための準備をすすめた。

⑤ 1～3月

- 国際バカロレアワークショップ参加報、SSH指定校及び研究開発学校視察校報告を基に本校の次年度の研究の方向性を検討した。
- 第4回公開研究会を平成26年6月に開催することを決定した。
- 平成25年度校内研究会は、DPに対する共通理解を図るとともに、第4回公開研究会の主題を設定することを柱として展開する。